MX900000A レポート作成ソフトウェア 取扱説明書

第3版

- ・製品を適切・安全にご使用いただくために、製品をご使用になる前に、本書を必ずお読みください。
 ・本書に記載以外の各種注意事項は、MW9076 シリーズ光パルス試験器取扱説明書、MT9080 シリーズアクセスマスタ取扱説明書、MT9082 シリーズアクセスマスタ取扱説明書、またはネットワークマスタシリーズドロップケーブルフォルトロケータ日本仕様取扱説明書(MT9090A メインフレーム、MU909011A ドロップケーブルフォルトロケータモジュール、MU909011A ドロップケーブルフォルトロケータモジュール、MU909011A-001 日本仕様についての取扱説明書)に記載の事項に準じますので、そちらをお読みください。
 ・本書に記載以外の詳しい説明については、各ソフトウェアのヘルプに記載してありますので、そちらをお読みください。
- ・本書は製品とともに保管してください。

アンリツ株式会社

管理番号: M-W2888AW-3.0

安全情報の表示について ―

当社では人身事故や財産の損害を避けるために、危険の程度に応じて下記のようなシグナルワードを用いて安全に関す る情報を提供しています。記述内容を十分理解して機器を操作するようにしてください。 下記の表示およびシンボルは、そのすべてが本器に使用されているとは限りません。また、外観図などが本書に含まれる とき、製品に貼り付けたラベルなどがその図に記入されていない場合があります。

本書中の表示について



機器に表示または本書に使用されるシンボルについて

機器の内部や操作箇所の近くに,または本書に,安全上または操作上の注意を喚起するための表示があります。 これらの表示に使用しているシンボルの意味についても十分理解して,注意に従ってください。



MX900000A レポート作成ソフトウェア 取扱説明書

2007年(平成19年)3月8日(初版) 2010年(平成22年)12月15日(第3版)

・予告なしに本書の内容を変更することがあります。
 ・許可なしに本書の一部または全部を転載・複製することを禁じます。
 Copyright © 2007-2010, ANRITSU CORPORATION
 Printed in Japan

品質証明

アンリツ株式会社は、本製品が出荷時の検査により公表機能を満足することを証明します。

保証

- ・ アンリツは、本ソフトウェアが付属のマニュアルに従った使用方法にもかかわら ず、実質的に動作しなかった場合に、無償で補修または交換します。
- ・ その保証期間は、購入から1年間とします。
- 補修または交換後の本ソフトウェアの保証期間は、購入時から1年以内の残余の期間、または補修もしくは交換後から30日のいずれか長い方の期間とします。
- ・ 本ソフトウェアの不具合の原因が、天災地変などの不可抗力による場合、お客様の誤使用の場合、またはお客様の不十分な管理による場合は、保証の対象 外とさせていただきます。

また,この保証は,原契約者のみ有効で,再販売されたものについては保証しか ねます。

なお,本製品の使用,あるいは使用不能によって生じた損害およびお客様の取引 上の損失については,責任を負いかねます。

当社へのお問い合わせ

本製品の故障については、本書(紙版説明書では巻末、CD 版説明書では別ファ イル)に記載の「本製品についてのお問い合わせ窓口」へすみやかにご連絡ください。

国外持出しに関する注意

- 本製品は日本国内仕様であり、外国の安全規格などに準拠していない場合もありますので、国外へ持ち出して使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本製品および添付マニュアル類は、輸出および国外持ち出しの際には、 「外国為替及び外国貿易法」により、日本国政府の輸出許可や役務取引 許可を必要とする場合があります。また、米国の「輸出管理規則」により、 日本からの再輸出には米国政府の再輸出許可を必要とする場合があり ます。

本製品や添付マニュアル類を輸出または国外持ち出しする場合は,事前 に必ず弊社の営業担当までご連絡ください。

輸出規制を受ける製品やマニュアル類を廃棄処分する場合は,軍事用途 等に不正使用されないように,破砕または裁断処理していただきますよう お願い致します。

ソフトウェア使用許諾

お客様は、ご購入いただいたソフトウェア(プログラム、データベース、電子機器の動作・設定などを定めるシナリオ等、 以下「本ソフトウェア」と総称します)を使用(実行、複製、記録等、以下「使用」と総称します)する前に、本ソフトウェア 使用許諾(以下「本使用許諾」といいます)をお読みください。お客様が、本使用許諾にご同意いただいた場合のみ、 お客様は、本使用許諾に定められた範囲において本ソフトウェアをアンリツが推奨・指定する装置(以下、「本装置」と いいます)に使用することができます。

第1条 (許諾,禁止内容)

- お客様は、本ソフトウェアを有償・無償にかかわら ず第三者へ販売、開示、移転、譲渡、賃貸、頒布、 または再使用する目的で複製、開示、使用許諾す ることはできません。
- お客様は、本ソフトウェアをバックアップの目的で、 1部のみ複製を作成できます。
- 本ソフトウェアのリバースエンジニアリングは禁止させていただきます。
- 4. お客様は、本ソフトウェアを本装置1台で使用でき ます。

第2条 (免責)

アンリツは、お客様による本ソフトウェアの使用また は使用不能から生ずる損害、第三者からお客様に なされた損害を含め、一切の損害について責任を 負わないものとします。

第3条 (修補)

- お客様が、取扱説明書に書かれた内容に基づき 本ソフトウェアを使用していたにもかかわらず、本ソ フトウェアが取扱説明書もしくは仕様書に書かれた 内容どおりに動作しない場合(以下「不具合」と言 います)には、アンリツは、アンリツの判断に基づい て、本ソフトウェアを無償で修補、交換、または回 避方法のご案内をするものとします。ただし、以下 の事項に係る不具合を除きます。
 - a) 取扱説明書・仕様書に記載されていない使用目的 での使用
 - b)アンリツが指定した以外のソフトウェアとの相互干渉
 - c) 消失したもしくは,破壊されたデータの復旧
 - d) アンリツの合意無く,本装置の修理,改造がされた場合
 - e) 他の装置による影響,ウイルスによる影響,災害,そ の他の外部要因などアンリツの責とみなされない要 因があった場合
- 前項に規定する不具合において、アンリツが、お客様ご指定の場所で作業する場合の移動費、宿泊費および日当に関る現地作業費については有償とさせていただきます。
- 3. 本条第1項に規定する不具合に係る保証責任期

間は本ソフトウェア購入後1年もしくは修補後 30 日 いずれか長い方の期間とさせていただきます。

第4条 (法令の遵守)

お客様は、本ソフトウェアを、直接、間接を問わず、 核、化学・生物兵器およびミサイルなど大量破壊兵 器および通常兵器およびこれらの製造設備等関連 資機材等の拡散防止の観点から、日本国の「外国 為替および外国貿易法」およびアメリカ合衆国「輸 出管理法」その他国内外の関係する法律、規則、 規格等に違反して、いかなる仕向け地、自然人もし くは法人に対しても輸出しないものとし、また輸出さ せないものとします。

第5条 (解除)

アンリツは、お客様が本使用許諾のいずれかの条 項に違反したとき、アンリツの著作権およびその他 の権利を侵害したとき、または、その他、お客様の 法令違反等、本使用許諾を継続できないと認めら れる相当の事由があるときは、本使用許諾を解除 することができます。

第6条 (損害賠償)

お客様が、使用許諾の規定に違反した事に起因し てアンリツが損害を被った場合、アンリツはお客様 に対して当該の損害を請求することができるものと します。

第7条 (解除後の義務)

お客様は、第5条により、本使用許諾が解除され たときはただちに本ソフトウェアの使用を中止し、ア ンリツの求めに応じ、本ソフトウェアおよびそれらに 関する複製物を含めアンリツに返却または廃棄す るものとします。

第8条 (協議)

本使用許諾の条項における個々の解釈について 疑義が生じた場合,または本使用許諾に定めのな い事項についてはお客様およびアンリツは誠意を もって協議のうえ解決するものとします。

第9条 (準拠法)

本使用許諾は、日本法に準拠し、日本法に従って 解釈されるものとします。



目次

第1章	t 概要	1-1
1.1	動作環境	1-2
1.2	製品構成	1-3
1.3	MX900000A レポート作成ソフトウェアでできること	1-4
1.4	レポート作成ウィザードとは	1-5
1.5	エミュレーションとは	1-6
1.6	計画測定エディタとは	1-7
1.7	コメントエディタとは	1-8

第2章 インストールとアンインストール 2-1

2.1	インストール	2-2
2.2	アンインストール	2-19

第3章 使ってみよう...... 3-1

3.1	レポートを作成する	3-2
3.2	波形を解析する	3-21
3.3	計画ファイルを作成する	3-29
3.4	コメントを編集する	3-44
3.5	システム設定を行う	3-52

1

2



MX900000Aレポート作成ソフトウェアの概要について説明します。

1.1	動作環境	1-2
1.2	製品構成	1-3
1.3	MX900000A レポート作成ソフトウェアでできること	1-4
1.4	レポート作成ウィザードとは	1-5
1.5	エミュレーションとは	1-6
1.6	計画測定エディタとは	1-7
1.7	コメントエディタとは	1-8

1.1 動作環境

対応 OS	Microsoft Windows XP SP 3, Windows 7 (日本語 32 bit 版のみ対応)
対応機種	PC/AT 互換機
CPU	Intel Pentium III 600 MHz 相当以上
メモリ	256 MB 以上
空き HDD 容量	100 MB 以上
画面の解像度	1024×768以上
必要なソフトウェア	レポート作成ウィザードで Excel 出力を行う ためには以下のバージョンの Microsoft Excel がインストールされている必要があり ます。 Microsoft Excel 2003 日本語版

表 1.1-1 動作環境

本書に掲載している操作画面は、OS として Windows XP を使用した場合のものです。Windows 7 を使用した場合は、操作画面のデザインが本書と異なるときがありますが機能上の相違はありません。

また, Windows 7 上で本アプリケーションを実行する場合, 必ず管理者権限で実行するようにしてください。

1.2 製品構成

形名·記号	品名	数量	備考
MX900000A	レポート作成ソフトウェア	1	 CD-ROM に下記を格納 レポート作成ウィザード エミュレーション 計画測定エディタ コメントエディタ MX900000A レポート作 成ソフトウェア取扱説明書
W2888AW	MX900000Aレポート作成ソフトウェア取扱説明書	1	和文,冊子

表 1.2-1 製品構成

概要

1.3 MX900000A レポート作成ソフトウェアでできること

MX900000Aレポート作成ソフトウェアの機能について説明します。

MX900000A レポート作成ソフトウェアは、以下の操作を簡単に行うことができます。

- ・ 光ファイバの工事や保守で測定した結果を保存した波形ファイルから, レポート を作成する。
- ・ 測定した結果を保存した波形ファイルを解析する。
- ・ MT9080/81/82 シリーズ アクセスマスタ(以下,「アクセスマスタ」という。)で使用する計画ファイルを作成する(アクセスマスタは当社製品です)。
- ・ 測定した結果を保存した波形ファイルのコメントを一括で編集する。

MX900000A レポート作成ソフトウェアをパーソナルコンピュータ(以下,「パソコン」という。)にインストールすると,以下のソフトウェアが使用できます。

- レポート作成ウィザード
- ・ エミュレーション
- ・ 計画測定エディタ
- ・ コメントエディタ

1.4 レポート作成ウィザードとは

レポート作成ウィザードは, MW9076シリーズ光パルス試験器, MT908xアクセスマ スタシリーズ,およびネットワークマスタシリーズドロップケーブルフォルトロケータ日 本仕様で作成した波形ファイルを読み込んでレポートを作成するときに使用します。

注:

本書では、MT9090A メインフレームに MU909011A ドロップケーブルフォ ルトロケータモジュールおよび MU909011A-001 日本仕様を取り付けた構 成のことを「ネットワークマスタシリーズドロップケーブルフォルトロケータ日本 仕様」と表記します。

- ・ 画面の指示に従って設定していくだけでレポートが作成できます。
- ・以下の形式でレポートが作成できます。
 多心集計表:測定結果を一覧表形式で出力します。
 波形レポート:波形ファイルごとに波形や測定結果を出力します。
 多心集計表+波形レポート:多心集計表と波形レポートを同時に出力します。
- 作成したレポートを印刷できます。また、ExcelやPDF形式でファイル出力できます。
- ・ 作成したレポートの内容(測定条件や測定結果など)を変更できます。
- ・ 両端測定した波形ファイルのレポートを作成できます。
- ・ 複数の波長で測定した波形ファイルを波長ごとに分類して出力できます。
- レポートを作成したときの設定内容をファイルに保存できます。このファイルを読み込むと、同じ形式でレポートを作成できます。



図 1.4-1 レポート作成ウィザード画面

概要

1.5 エミュレーションとは

エミュレーションは, MW9076 シリーズ光パルス試験器, MT908x アクセスマスタ シリーズ, およびネットワークマスタシリーズドロップケーブルフォルトロケータ日本 仕様で作成した波形ファイルを表示, 解析するときに使用します。

- ・ 解析方法を接続損失&反射(6 点マーカ)または損失&全反射減衰量(2 点 マーカ)にし、マーカを移動させることで、波形が解析できます。
- ・ 解析方法をイベントマーカにすることで、イベントの自動検出や追加、削除など イベントを編集できます。
- ・ 両端測定した波形ファイルを解析できます。
- ・2つの波形を比較し、レベル差などを測定できます。
- ・ 相対距離を設定することで、ダミーファイバを使用して測定した波形ファイルも 解析できます。
- ・
 ・
 波形ファイルのタイトルやヘッダを編集できます。
- ・ 表示している波形を印刷できます。
- 最大 16 波形を同時に表示できます。
- ・ 距離単位や表示する波形の色を変更できます。
- ・ パソコンに保存している波形ファイルを,作業者や波長などから検索できます。



図 1.5-1 エミュレーション画面

1.6 計画測定エディタとは

計画測定エディタは, MT908x アクセスマスタシリーズの光パルス試験(計画測定)機能(以下,「計画測定」という。)で使用する計画ファイルを作成するときに使用します。

🖶 Þ	X900000A 計画測定エディタ	- MT9082A-059 -						
7711	レ(E) 編集(E) 設定(U) 表示(⊻ ^ルフ°(<u>H</u>)						
χI								
ſ								
新規	作成 開く 上書き保存							
No.	77/11名	心線名称	心線番号 /	測定状態	波長	距離レンジ	パルス幅	平均化回)
1	/厚木-海老名0001 1310 SOR	厚木-海老名	0001	未測定	1310nm	10 km	100ns	10
2	厚木-海老名0001_1550.SOR	厚木-海老名	0001	未測定	1550nm	10 km	100ns	10
3	厚木-海老名0002_1310.SOR	厚木-海老名	0002	未測定	1310nm	10km	100ns	10
4	厚木-海老名0002_1550.SOR	厚木-海老名	0002	未測定	1550nm	10km	100ns	10
5	厚木-海老名0003_1310.SOR	厚木-海老名	0003	未測定	1310nm	10km	100ns	10
6	厚木-海老名0003_1550.SOR	厚木-海老名	0003	未測定	1550nm	10km	100ns	10
7	厚木-海老名0004_1310.SOR	厚木-海老名	0004	未測定	1310nm	10km	100ns	10
8	厚木-海老名0004_1550.SOR	厚木-海老名	0004	未測定	1550nm	10km	100ns	10
9	厚木-海老名0005_1310.SOR	厚木-海老名	0005	未測定	1310nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
10	厚木-海老名0005_1550.SOR	厚木-海老名	0005	未測定	1550nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
11	厚木-海老名0006_1310.SOR	厚木-海老名	0006	未測定	1310nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
12	厚木-海老名0006_1550.SOR	厚木-海老名	0006	未測定	1550nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
13	厚木-海老名0007_1310.SOR	厚木-海老名	0007	未測定	1310nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
14	厚木-海老名0007_1550.SOR	厚木-海老名	0007	未測定	1550nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
15	厚木-海老名0008_1310.SOR	厚木-海老名	0008	未測定	1310nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める
16	厚木-海老名0008_1550.SOR	厚木-海老名	0008	未測定	1550nm	現場で決める	現場で決める	現場で決める

図 1.6-1 計画測定エディタ画面

概要

1.7 コメントエディタとは

コメントエディタは, MW9076 シリーズ光パルス試験器, MT908x アクセスマスタシ リーズ, およびネットワークマスタシリーズドロップケーブルフォルトロケータ日本仕 様で作成した波形ファイルのタイトル, ヘッダ, および群屈折率(IOR)を一括で編 集し, 保存するときに使用します。

III M	X900000A コメントエディタ							
7711	√E) 編集(E) 表示(V) ^ルフ	°(Щ)						
í∎ I‡	 ・ ・	🗈 🛍 コピー 貼り付け	始 検索					
No.	フォルダ	ファイル名 湖	坡長 群屈折率	조(IOR) タイトル	データフラグ	作業者	起点 終点	ケーブル番号 [
1	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW001_1310nm.SOR 13	310nm 1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB01 F
2	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW001_1550nm.SOR 18	550nm 1.466100	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB01 F
3	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW002_1310nm.SOR 13	310nm 1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB02 F
4	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW002_1550nm.SOR 18	550nm 1.466100	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB02 F
5	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW003_1310nm.SOR 13	310nm 1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB03 F
6	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW003_1550nm.SOR 18	550nm 1.466100	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立太郎	厚木 海老名	CB03 F
7	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW004_1310nm.SOR 13	310nm 1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB04 F
8	C:¥work¥光工事¥2006.10.10¥	NEW004_1550nm.SOR 18	550nm 1.466100	厚木-海老名	BC: 敷設時	安立 太郎	厚木 海老名	CB04 F
<								>
								*

図 1.7-1 コメントエディタ画面

第2章 インストールとアンインストール

MX900000A レポート作成ソフトウェアのインストールとアンインストールの手順に ついて説明します。

2.1	インストール	2-2
2.2	アンインストール	2-19

2.1 インストール

パソコンに MX900000A レポート作成ソフトウェアをインストールする手順を説明します。 MX900000A レポート作成ソフトウェアのインストール CD を用意してください。

注:

すでに, MX900000A レポート作成ソフトウェアがインストールされている場合は, それらをアンインストールしてから, 下記の作業を行ってください。

【Windows XP の場合】

- 1. InstallShield Wizard の起動
 - (1) インストール CD をドライブに挿入します。
 - (2) マイコンピュータからインストール CD の内容を表示します。



図 2.1-1 インストール CD の内容

(3) [setup.exe]をダブルクリックします。



図 2.1-2 インストール CD の内容

- 2. セットアップ言語選択画面の表示
 - (1) セットアップ言語の選択画面が表示されます。
 - (2) 日本語を選択し、[OK]をクリックします。



図 2.1-3 セットアップ言語選択画面

- 3. 要件のインストール画面の表示
 - (1) 要 件 の インストー ル 画 面 が 表 示 され ま す 。パソコン に 「.NetFrameWork2.0 SP2」がインストールされている場合は, 表示され ません。
 - (2) 説明文をよく読み, [Install]をクリックします。

InstallShield Wizard
MX9000000A Report Software をインストールする前に、コンピュータに次の要件がインストー ルされている必要があります。[Instal]をクリックして、これらの要件のインストールを開始して ください。
ステータス 要件
待晚中 Microsoft .NET Frame work 2.0 SP2
クリックします。 Install キャンセル

図 2.1-4 要件のインストール画面

(3) インストールの準備が始まります。



図 2.1-5 InstallShield Wizard 準備中画面

- 4. インストール初期画面の表示
 - (1) InstallShield Wizard の準備が完了すると、インストール画面が表示されます。
 - (2) 説明文をよく読み[次へ(N)]をクリックします。



図 2.1-6 インストール画面

- 5. 使用許諾契約画面の表示
 - (1) 使用許諾契約画面が表示されます。
 - (2) ソフトウェア使用許諾書をよく読み[使用許諾契約の条項に同意します (<u>A</u>)]を選択します。
 - (3) [次へ(<u>N</u>)]をクリックします。



図 2.1-7 使用許諾契約画面

- 6. ユーザ情報入力画面の表示
 - (1) ユーザ情報入力画面が表示されます。
 - (2) [ユーザ名(U)], [所属(O)]を入力します。
 - (3) [このコンピュータを使用するすべてのユーザ(<u>A</u>)]を選択し、[次へ(<u>N</u>)]
 をクリックします。



図 2.1-8 ユーザ情報入力画面

- 7. インストール先のフォルダ選択画面の表示
 - (1) インストール先のフォルダ選択画面が表示されます。
 - (2) [次へ(<u>N</u>)]をクリックします。インストール先のフォルダを変更するときは、
 [変更(<u>C</u>)…]をクリックし、[フォルダ名]を入力します。

👹 MX900000A R	eport Software – InstallShield Wizard 🛛 🛛 🗙	
インストール先のフォノ このフォルダにインス ンストールする場合	レダ トゥールする場合は、「次へ」をクリックしてください。 別のフォルダにイ は、「変更」をクリックします。	
<u></u> МХ900 С;¥Рго;	000A Report Software のインストール先: gram Files¥Anritsu¥MX900000A Report Software¥ 変更(<u>c</u>)	
	クリックします。	
InstallShield ————	< 戻る(目) 次へ(1) チャンセル	

図 2.1-9 インストール先のフォルダ選択画面

- 8. インストール開始画面の表示
 - (1) インストール開始画面が表示されます。
 - (2) [インストール(<u>I</u>)]をクリックします。インストールを実行しないときは、[キャ ンセル]をクリックします。
 - (3) インストールを開始します。



図 2.1-10 インストール開始画面

- 9. .NetFrameWork2.0 日本語 LanguagePack セットアップ開始画面の表示
 - NetFrameWork2.0 日本語 LanguagePack セットアップ開始画面が 表示されます。パソコンに「.NetFrameWork2.0 日本語 LanguagePack」がインストールされている場合は、表示されません。
 - (2) [次へ(<u>N</u>)]をクリックします。

i Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack セットアップ 📰 🔲 🗙
Microsoft_NET Framework 2.0 日本語 Language Pack セットアップへようこそ
このウィザードに従ってインストールを進めます。
クリックします。 (ホヘ個) キャンセル@

図 2.1-11 LanguagePack セットアップ開始画面

- 10. LanguagePackの使用許諾契約画面の表示
 - (1) LanguagePack の使用許諾画面が表示されます。
 - (2)使用許諾書をよく読み[同意する(A)]を選択します。
 - (3) [インストール(<u>I</u>)]をクリックし、インストールを開始します。

	🤴 Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack セットアップ 📃 🗖 🔀 使用許諾契約書
	使用許諾契約書 マイクロソフト ソフトウェア追加使用許諾契約書 MICROSOFT .NET FRAMEWORK 20 FOR MICROSOFT WINDOWS OPERATING SYSTEM マイクロソフト (お住まいの地域によっては、その子会社) は、本追加ソフトウェアのライセンスをお 客様に供与します。Microsoft Windows オペレーティング システム ソフトウェア (以下に対象)フト マ
Fry	7を入れます。 密を読み、理解し、同意したので、同意する」ボタンをクレ クリックします。 く戻る個 インストールゆう キャンセル(の)

図 2.1-12 LanguagePack の使用許諾契約画面

- 11. LanguagePack のセットアップ完了画面の表示
 - (1) LanguagePackのセットアップ完了画面が表示されます。
 - (2) [完了(<u>F</u>)]をクリックします。

🤀 Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack セットアップ 📃 🔲 🗙
セットアップ完了
Microsoft .NET Framework 2.0 日本語 Language Pack が正常にインストールされました。
この製品用の最新の Service Pack およびセキュリティ更新ブログラムをダウンロードしてインストー ルすることを強くお勧めします。
詳細については、以下の Web サイトを参照してください。
製品サポートセンター
クリックします。
完了(E)

図 2.1-13 LanguagePack のセットアップ完了画面

- 12. インストール完了画面の表示
 - (1) インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。
 - (2) インストール完了後、システム設定を行う場合は、[Launch MX900000A System Setting]にチェックを入れます。
 - (3) [完了(<u>F</u>)]をクリックすると、InstallShield Wizard が終了します。



図 2.1-14 インストール完了画面

2

インストールとアンインストール

- 13. システム設定画面の表示
 - (1) システム設定画面が表示されます。
 - (2)日本語を選択します。
 - (3)配置方式,または移動方式を選択し, [OK]をクリックすると,システム設定が終了します。



注:

言語,およびマーカの設定は、インストール後も変更できます。詳細は「3.5 システム設定を行う」を参照してください。

【Windows 7 の場合】

- 1. InstallShield Wizard の起動
 - (1) インストール CD をドライブに挿入します。
 - (2) マイコンピュータからインストール CD の内容を表示します。



図 2.1-16 インストール CD の内容

(3) [setup.exe]をダブルクリックします。



図 2.1-17 インストール CD の内容

(4) セットアップ言語を選択します。

セット	アップ言語の選択
2	このインストールで使用する言語を次のリストから選択してくださ い。
	日本語(日本) ▼ OK キャンセル
	クリックします。
	図 2.1-18 セットアップ言語の選択画面

(5) インストールの準備が始まります。



図 2.1-19 InstallShield Wizard 準備中画面

- 2. インストール初期画面の表示
 - (1) InstallShield Wizard の準備が完了すると、インストール画面が表示されます。
 - (2) 説明文をよく読み[次へ(N)]をクリックします。



図 2.1-20 インストール画面

3. 使用許諾契約画面の表示

- (1) 使用許諾契約画面が表示されます。
- (2) ソフトウェア使用許諾書をよく読み[使用許諾契約の条項に同意します (<u>A</u>)]を選択します。
- (3) [次へ(<u>N</u>)]をクリックします。



図 2.1-21 使用許諾契約画面

- 4. ユーザ情報入力画面の表示
 - (1) ユーザ情報入力画面が表示されます。
 - (2) [ユーザ名(U)], [所属(O)]を入力します。
 - (3) [このコンピュータを使用するすべてのユーザ(<u>A</u>)]を選択し、[次へ(<u>N</u>)]
 をクリックします。



図 2.1-22 ユーザ情報入力画面

- 5. インストール先のフォルダ選択画面の表示
 - (1) インストール先のフォルダ選択画面が表示されます。
 - (2) [次へ(<u>N</u>)]をクリックします。インストール先のフォルダを変更するときは、
 [変更(<u>C</u>)...]をクリックし、[フォルダ名]を入力します。



図 2.1-23 インストール先のフォルダ選択画面

- 6. インストール開始画面の表示
 - (1) インストール開始画面が表示されます。
 - (2) [インストール(<u>I</u>)]をクリックします。インストールを実行しないときは、[キャンセル]をクリックします。
 - (3) インストールを開始します。

HX900000A Report Software - InstallShield Wizard	
プログラムをインストールする準備ができました ウィザードは、インストールを開始する準備ができました。	
「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。	
インストールの設定を参照したり変更する場合は、「戻る」をクリックしてください。「キャンセル」をク リックすると、ウィザードを終了します。	
クリックします。 InstallShield < 戻る(B) インストール(I) キャンセル	

図 2.1-24 インストール開始画面

- 7. ユーザーアカウント制御画面の表示
 - (1) インストールを開始すると, ユーザーアカウント制御画面が表示されます。
 - (2) [はい(Y)]をクリックします。インストールを実行しないときは、[いいえ (N)]をクリックします。
 - (3) インストールを継続します。

⑦ ユーザー アカウント制御	
次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?	
プログラム名: F:¥MX900000A Report Softv 発行元: 不明 ファイルの入手先: CD/DVD ドライブ	\bigcirc
✓ 詳細を表示する(<u>D</u>)	
<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>	

図 2.1-25 ユーザーアカウント制御画面

- 8. インストール完了画面の表示
 - (1) インストールが完了すると、インストール完了画面が表示されます。
 - (2) インストール完了後、システム設定を行う場合は、[Launch MX900000A System Setting]にチェックを入れます。
 - (3) [完了(<u>F</u>)]をクリックすると、InstallShield Wizard が終了します。

B MX900000A Report Soft	ware - InstallShield Wizard
S	InstallShield ウィザードを完了しました
	InstallShield ウィザードは、MX900000A Report Software を 正常にインストールしました。「完了」をクリックして、ウィザードを終 了してください。
	♥ Jaunch MX900000A System Setting チェックを入れます。
	クリックします。
	< 戻る(B) 完了(F) キャンセル

図 2.1-26 インストール完了画面

9. システム設定画面の表示

- (1) システム設定画面が表示されます。
- (2)日本語を選択します。
- (3)配置方式,または移動方式を選択し, [OK]をクリックすると、システム設 定が終了します。



注:

言語,およびマーカの設定は,インストール後も変更できます。詳細 は「3.5 システム設定を行う」を参照してください。

10. エミュレーションのプロパティ設定画面の表示

- デスクトップのタスクバーにある[スタート]をクリックすると、[スタート]メ ニューが表示されます。
- (2) [スタート]メニューにある[MX900000A]のエミュレーションを右クリックす ると、ポップアップ画面が表示されます。
- (3)ポップアップ画面の[プロパティ(<u>R</u>)]をクリックします。



図 2.1-28 エミュレーションのポップアップ画面

(4)エミュレーションのプロパティ設定画面が表示されます。

(5) [互換性]タブを選択します。

(6)[管理者としてこのプログラムを実行する]にチェックを入れます。

(7)[OK]をクリックすると、エミュレーションのプロパティ設定が終了します。

「「「エミュレーションのプロパティ
全般 ショートカット 互換性 チェリティ 詳細 以前のバージョン
プログラムが以前のパージョンの Window ージョンでは問題が発生する場合、以前 して伏衣い。 設定の遅択に関するヘルプ 互換モード
 互換モードでこのプログラムを実行する: Windows XP (Service Pack 3)
設定
□266 87.55 + + + = = = = = = = = = = = = = = = =
 □ テスクトップ を無効にする □ 高 DPI ■ 面面のスケーリングを無効にする
特権となったのプログラムを実行する クリックします。
● すべてのユーザーの設定を変更
していたい (A)

図 2.1-29 エミュレーションのプロパティ設定画面

11. レポート作成ウィザードのプロパティ設定画面の表示

- デスクトップのタスクバーにある[スタート]をクリックすると、[スタート]メ ニューが表示されます。
- (2) [スタート]メニューにある[MX900000A]のレポート作成ウィザードを右ク リックすると、ポップアップ画面が表示されます。
- (3)ポップアップ画面の[プロパティ(<u>R</u>)]をクリックします。



図 2.1-30 レポート作成ウィザードのポップアップ画面

(4)レポート作成ウィザードのプロパティ設定画面が表示されます。

(5)[互換性]タブを選択します。

(6)[管理者としてこのプログラムを実行する]にチェックを入れます。 (7)[OK]をクリックすると、ウィザードのプロパティ設定が終了します。

レポート作成ウィザードのプロパティ	
全般 ショートカト 互換性 シュリティ 詳細 以前のバージョン	
プログラムが以前のパージョンの Window ージョンでは問題が発生する場合、以前 してださい。 設定の選択に関するヘルプ	
五次モード 互換モード	
 	
設定	
 □ 256 0 □ 640 ● 現道 チェックを入れます。 	
 デスクトップ クを無効にする 高 DP の面面のスケーリングを無効にする。 	
特徴があ のす理者としてこのプログラムを実行する クリックします。	
※すべてのユーザーの設定を変更	
<u> </u>	

図 2.1-31 レポート作成ウィザードのプロパティ設定画面

12. 計画測定エディタのプロパティ設定画面の表示

- デスクトップのタスクバーにある[スタート]をクリックすると、[スタート]メ ニューが表示されます。
- (2) [スタート]メニューにある[MX900000A]の計画測定エディタを右クリック すると、ポップアップ画面が表示されます。
- (3)ポップアップ画面の[プロパティ(<u>R</u>)]をクリックします。



図 2.1-32 計画測定エディタのポップアップ画面

(4)計画測定エディタのプロパティ設定画面が表示されます。

(5)[互換性]タブを選択します。

(6)[管理者としてこのプログラムを実行する]にチェックを入れます。

(7)[OK]をクリックすると、計画測定エディタのプロパティ設定が終了します。

🖷 計画測定エディタのプロパティ
全般 ショートカット 互換性 キャーリティ 詳細 以前のバージョン
プログラムが以前のバージョンの Window ージョンでは問題が発生する場合、以降 して代表い。 <u>設定の遅択に関するヘルプ</u> 互換モード
□ 互換モードでこのプログラムを実行する。 Windows XP (Service Pack 3) →
設定
□256 a □ 840 □ 現 ■ 現 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
 デスクトップ ごを無効にする 高 DB ブ画面の2ケービングを無効にする
時間の 特徴の 記録である でのプログラムを実行する クリックします。
🧝 すべてのユーザーの設定を変更
OK キャンセル 適用(A)

図 2.1-33 計画測定エディタのプロパティ設定画面

2.2 アンインストール

パソコンから MX900000A レポート作成ソフトウェアをアンインストールする手順を 説明します。

【Windows XP の場合】

- 1. プログラムの追加と削除画面の表示
 - (1) 【スタート】 → 【コントロールパネル(\underline{C})】を選択します。
 - (2) コントロールパネル画面が表示されます。
 - (3) [プログラムの追加と削除]をダブルクリックします。
 - (4) プログラムの追加と削除画面が表示されます。
 - (5) [MX900000A Report Software]をクリックすると、内容が表示されます。

🖥 วิตชีวินตมี	自加と削除		
5	現在インストールされているプログラム:	□ 更新プログラムの表示(型)	並べ替え(S):名前
フロクラムの 変更と削除(H)	MX900000A Report Software サポート情報を登場するには、この方が見		サイズ <u>42.10MB</u> 使用頻度 低
アログラムの 通知(4) Windows ユンボーネントの 通知と新聞(4) で アクログラムの アクログラムの アクログラムの 開業(4)	でいうログラム でしたり、コノビューが でしたり、コノビューが 確認します	96前時したりするには、BEEE1または G	10000日本 11公 11☆]を対9うして伏 <u>変更</u> <u>削除</u>

図 2.2-1 プログラムの追加と削除画面

インストールとアンインストー

- 2. プログラムの削除
 - (1) プログラムの追加と削除画面で[削除]をクリックします。

🐻 プログラムの通	a juiz an juiz
プログラムの 変更と即称(中) プログラムの 注加(中)	現在行ンストールされているプログラム: 更新プログラムの表示(0) 基ペ替え(5) 名前 アイズ 4210MB サポート指摘な参照するには、ここをグリックしてください。 使用印度 低 このプログラムを変更したり、コンピュークから削除したりするには、医更1または 閉除剤 をクリックしてくだ 変更 削除 クリックします。

図 2.2-2 プログラムの追加と削除画面
【Windows 7 の場合】

- 1. プログラムのアンインストールまたは変更画面の表示
 - (1) 【スタート】→【コントロールパネル】を選択します。
 - (2) コントロールパネル画面が表示されます。
 - (3) [プログラムと機能]をダブルクリックします。
 - (4) プログラムのアンインストールまたは変更画面が表示されます。
 - (5) [MX900000A Report Software]の内容が表示されます。



図 2.2-3 プログラムのアンインストールまたは変更画面

インストールとアンインストール

- 2. プログラムの削除
 - (1) [MX900000A Report Software]を選択します。
 - (2) アンインストールをクリックします。

	(ネル ▶ すべてのコントロール パネル ツール(T) ヘルプ(H)	項目 🖡 プログラムと機能	£ ▼ 4 ₇	プログラムと機能	の検索	م
コントロール パネル ホーム インストールされた更新プロ グラムを表示	プログラムのアンインストール3 プログラムをアンインストール3 復 をクリックします。	クリック	します。)、または [/	ġ
は無効化	整理 アンインストール 理	e (87)			81 -	0
	名前	発行元	インストール日	サイズ	バージョン	
	HX900000A Report Software	Anritsu Corporation	2010/12/08	42.7 MB	2.00.0000	
	選択し Anritsu Corporation	ます。 ます。	D0 步术 www.anntsu.c	ートのリンク: htt サイズ: 42.	p://www.anrits 7 MB	su.co.jp

図 2.2-4 プログラムのアンインストールまたは変更画面

- 3. ユーザーアカウント制御画面の表示
 - (1) アンインストールを開始すると、ユーザーアカウント制御画面が表示されます。
 - (2) [はい(Y)]をクリックします。アンインストールを実行しないときは、[いいえ(N)]をクリックします。
 - (3) アンインストールを継続します。

-ב 💡	ザー アカウント制御		
\bigcirc	次の不明な発行元太 可しますか?	からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許	
	プログラム名: 発行元: ファイルの入手先:	C:¥Windows¥Installer¥1cf3ac 不明 このコンピューター上のハード	
🕑 #	細を表示する(<u>D</u>)	(まい(Y) しいいえ(N)	
		<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>	

図 2.2-5 ユーザーアカウント制御画面

第3章 使ってみよう

MX900000A レポート作成ソフトウェアの操作手順について,一例をあげて説明します。詳しくは,各ソフトウェアのヘルプを参照してください。

3.1	レポートを作成する	3-2
3.2	波形を解析する	3-21
3.3	計画ファイルを作成する	3-29
3.4	コメントを編集する	3-44
3.5	システム設定を行う	3-52

注:

本章では、マーカを移動方式に設定している前提で記述しております。詳細は「3.5.3 マーカの設定」を参照してください。

3.1 レポートを作成する

レポート作成ウィザードを使用してレポートを作成する手順を,一例をあげて説明します。

レポート形式には、3種類のレイアウトが用意されており、レポート形式を選択し、各項目を設定していくだけでレポートが作成できます。

次の条件でレポートを作成し,印刷してみましょう。

表 3.1-1 レポート作成条件

出力項目	項目内容
レポート形式	波形レポート
測定方法	片端測定
波長での分類	なし
心線番号	1から始まる連番
波形の配置	1ページあたり4波形 横方向
解析方法	損失&全反射減衰量(2点マーカ)
マーカ	出力する
測定条件	出力する
測定結果	出力する
ファイル一覧表	出力しない
タイトル	図 3.1-1 レポートの出力例を参照
ヘッダ	図 3.1-1 レポートの出力例を参照
ページ番号	出力する

3

使ってみよう



図 3.1-1 レポートの出力例

1. ソフトウェアの起動

Windows XP のとき:

 $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム(\underline{P})] \rightarrow [MX900000A] \rightarrow [レポート 作成ウィザード]を選択し、レポート作成ウィザードを起動します。$

Windows 7 のとき:

- (1) $[スタート] \to [すべてのプログラム] \to [MX900000A] \to [レポート$ 作成ウィザード]を選択し、レポート作成ウィザードを起動します。
- (2) ユーザーアカウント制御画面が表示されます。この画面では、[はい (<u>Y</u>)]をクリックします。

🚱 ユーザー アカウント制御		
次の不明な発行元から 可しますか?	のプログラムにこのコンピューターへの変更を許	
プログラム名: pr 発行元: 不 ファイルの入手先: こ	jWizard.exe 明 のコンピューター上のハー]]]
● 詳細を表示する(<u>D</u>)	(はい(Y) いいえ(N)	
	<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>	i.
図 3.1-2	ユーザーアカウント制御画面	

2. レポート形式の選択

作成するレポート形式を選択します。

ポート形式	
0 3/L'36013/0 0 3/L'360	
) 単立状態 様本 ~ 海を名 ケップス場覧 237441 to 予切の大事業 237441 to 予切の大事業 237441 to 予切の大事業 237441 to 予切のため 2 予切のかか	- VULス (武装) - 新史 年月 1 2001-00-02 - 東京 第二王朝 第二王朝 1 2001-00-02 - 東京 第二王朝 1 2001-00-02 - 東京 第二 1 2001-00-02 - 東京 第二 1 2001-00
く。線通号 5 0001 27486 2 0001.50R	6.御祭明 : 0002 7+6名 : 0002.008
k	
	Instruction Constraint Constraint 課題 1350mb 7114700 目前 課題のジェリジョン 150mb 平均400 目前 な楽器単一:000m 単原数 1.460000 マル製器単:000m 1.5000 1.46000
nini.	
215 1000 770-00 RB	P by P by String 1000m 5000m ISBN - 1000m 5000m 5000m ISBN - 100m 5000m 5000m
C. 11.10 0000 10000 100000 C. 11.0000 7.44.45 : 0005.000 7.44.45 : 0005.000	0.444 (1000- 888/4 L40000 C488/9 1000 7+645 : 0001.008 D001.008
u hu	
2月月 1370年 7月1日-153 日間 2月1日-277 13年 平月1日、13月(1日) 17月3日 130年 町田田田町 1,465505	2月1日 1215mm / 7914-702 単数 21歳(12)52 15km 平均全 5回(189) <4.552 150mm 開設所用 1.465500

図 3.1-3 レポート作成ウィザード起動画面

(1) レポート形式を選択します。 作成するレポートの形式を選択します。今回は,波形のみのレポートを 作成するので,[波形レポート]を選択します。



図 3.1-4 レポート形式の選択

(2) [次へ]をクリックします。



3. 波形ファイルの選択と波形の並び順の設定

レポートに出力する波形ファイルの選択と,波形の並び順について設定します。

■ 波形ファイル 分類方法	の選択				
測定方法	片端測定	•	□ 波長で分辨	頂する	
- 心線の設定	連番	T	開始番号	1 ÷	
波形ファイルの	選択				
心绪	息番号	ファイル名	波長	距離レンジーバ	ルス幅
<u>^</u>					
¥					
 ● 順方向 ● 逆方向 			() (m		
0 12/110			ファイルを開	くフォルダ	単位で開く
更ら	- 10 XA				0.11-7

図 3.1-6 波形ファイルの選択画面

(1) 測定方法を選択します。

レポートに出力する波形の測定方法を選択します。今回は,使用する 波形の測定方法が片端なので,[片端測定]を選択します。



図 3.1-7 測定方法の選択

(2) 波長の分類を設定します。
 レポートに出力する波形を波長ごとに分類するか設定します。今回は、
 波長ごとに分類しないので、チェックを外します。



図 3.1-8 波長の分類の設定

(3) 心線番号を選択します。 レポートに出力する心線番号の種別を選択します。今回は、心線番号 として、番号を出力するので、[連番]を選択します。



図 3.1-9 心線番号の選択

(4) 心線開始番号を設定します。 心線番号として出力する連番の開始番号を設定します。今回は1から 順番に出力するので、[1]に設定します。



図 3.1-10 心線開始番号の設定

(5) [ファイルを開く]をクリックします。



図 3.1-11 波形ファイルの読み込み

(6) ファイルを開く画面が表示されます。

ファイルを間く		? 🛛
ファイルの場所Φ:	🔁 MX900000Aレポート作成ソフトウェア 🔹 🖛 📴 🖬	
最近使ったファイル です デスクトップ マイドキュメント	È Fields ⊇ Ingee ⊇ Layout Emu ⊇ Layout Emu ⊇ UnitRom	
२२ २२९२२-७ २२ २१ २७९७-७	77イル谷(4) アイル(2種類(1): 速形79イル(* soc.* dat) ・ 年	RO r>tu

図 3.1-12 ファイルを開く画面

3

(7) 波形ファイルを選択します。

レポートに出力する波形ファイル(*.sor, *.dat)や計画ファイル(*.hsf, *.hsr)を選択します。今回は,8個の波形ファイルを選択します。



図 3.1-13 波形ファイルの選択

(8) [開く(<u>O</u>)]をクリックします。



図 3.1-14 ファイルを開く画面

(9) 選択した波形ファイルが表示されます。

図 3.1-13 で選択した波形ファイルが昇順に表示されます。レポートに 出力する並び順と異なるときは、移動したい波形ファイルの行を選択し、 ◆ ◆ をクリックして並び順を変更します。



図 3.1-15 波形ファイルの読み込み後の画面

(10) [次へ]をクリックします。



4. 波形レポートの詳細設定

波形の解析方法,波形の配置,オプション,およびファイル一覧表について 設定します。

看 波形レポートの詳細設定	
波形の解析	
解析方法 損失&全反射減衰量(2,	5マーカ) 👤
波形の配置	
1 ページあたりの波形数	8 💌
波形の配置	横方向 ▼
両端波形の配置	測定方向交互
- オブション	
▼ マーカを出力する	
▶ 測定条件を出力する	
▶ 測定結果を出力する	
ファイル一覧表	
□ ファイルー覧表を出力する	
RECOVER	
·	
i	
	10000 nm 10000
戻る 🔻 次へ	ヘルプ 面

図 3.1-17 波形レポートの詳細設定画面

(1) 解析方法を選択します。

レポートに出力するマーカの種類を選択します。今回は、2 点マーカ付きの波形を出力するので、[損失&全反射減衰量(2 点マーカ)]を選択します。



図 3.1-18 解析方法の選択

(2) 1ページあたりの波形数を選択します。
 レポート用紙 1ページに何個の波形を出力するかを選択します。今回は,4個の波形を出力するので、[4]を選択します。

	選択します。
- 波形の配置 1 ページあたりの波形数	
波形の配置	横方向
両端波形の配置	測定方向交互

図 3.1-19 1 ページあたりの波形数の選択

(3) 波形の配置を選択します。

レポートに出力する波形の並び順を選択します。今回は、横方向に並 べて出力するので、[横方向]を選択します。



図 3.1-20 波形の配置の選択

(4) 波形出力の詳細を設定します。

レポートにマーカ,測定条件,測定結果を出力するかを設定します。今回は,すべて出力するので,各項目にチェックを付けます。



図 3.1-21 波形出力の詳細設定

(5) ファイルー覧表を出力するか設定します。 レポートに出力する波形のファイルー覧表を出力するかを設定します。 今回は、レポートにファイルー覧表を出力しないので、チェックを外しま す。



(6) [次へ]をクリックします。



使ってみよう

5. タイトル/ヘッダの編集

レポートに出力するタイトル/ヘッダを編集します。

輪 タイトルノヘッダの編集	
- タイトル 光パルス試験	
- ヘッダ 測定区間 	測定年月日 💌
ケーブル種別	測定端(上部)
ケーブル実長	測定端(下部) ▼
接続点数(n) ▲	測定者
接続点数(c)	測定波長
測定器	(*31.)
	<u> </u>
	<u> </u>
ユーザ定義の項目名	, 波形データから取得
ユーザ定義1 ユーザ定義2	
ユーザ定義 3	
戻る 🔻 法へ	で しょう

図 3.1-24 タイトル/ヘッダの編集画面

(1) タイトルを入力します。

レポートに出力するタイトルを入力します。今回は、[光パルス試験結果]と入力します。



図 3.1-25 タイトルの入力

(2) ヘッダを設定します。

レポートに出力する項目名と内容を設定します。今回は,以下の内容 を設定します。

表 3.1-2 ヘッダの設定内容

項目名	設定内容
測定区間	厚木-海老名
ケーブル種別	SM
ケーブル実長	10.00km
測定者	安立 太郎
測定波長	1310nm, 1550nm
測定年月日	2006/10/01
測定端(上部)	神奈川県厚木市
測定端(下部)	神奈川県海老名市
測定器	アンリツ MT9082

① 項目名を選択します。



図 3.1-26 項目選択

② 内容を入力します。

入力します。
測定区間
厚木-海老名
 万1 海老名 □
図 3.1-27 項目内容の入力

- ③ 同様に残りの項目を入力します。
- (3) 入力が完了したら[次へ]をクリックします。

看 タイトルノヘッダの編集	
_97hu	
光バルス試験結果	
_ ヘッダ	
測定区間	測定年月日
厚木-海老名	2006/10/01
ケーブル種別	測定端(上部)
SM	神奈川県厚木市
ケーブル実長	測定端(下部) ▼
10.00km	神奈川県海老名市
測定者	測定器
安立 太郎	アンリッMT9082
測定波長 ▼	(/ ₃ L)
1310nm, 1550nm	
(なし) 💌	(ばし)
	
Y	Y
- ユーザ定義の項目名	
ユーザ定義1	波形データから取得
ユーザ定義2 クリック	1.55
ユーザ定義 3	
7/	
戻5 ▼次へ	1 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10

図 3.1-28 入力後のタイトル/ヘッダの編集画面

6. 波形の編集

波形の表示範囲やマーカ位置を変更し,ほかのすべての波形ファイルに設 定をコピーします。



図 3.1-29 波形の編集画面

(1) マーカ位置を変更します。

ファイバのロ元から遠端までの全損失を測るためのマーカ配置方法について説明します。

Xマーカ,*マーカそれぞれを口元と遠端に移動します。

 X マーカの近くにマウスカーソルを合わせ、マウスカーソルの表示 を↑にします。



図 3.1-30 Xマーカの移動前



 マウスカーソルの表示を↑にした状態で X マーカをドラッグし、ロ 元付近に移動します。

図 3.1-31 Xマーカの移動

③ 波形を拡大します。

マーカを設定しやすいように,波形を拡大します。今回は,拡大したい場所をドラッグします(図 3.1-31 のように四角を描きます)。



因 3.1-32 派师切报人

④ Xマーカをドラッグし、口元付近に移動します。



(5) 全体波形を表示します。
 [全体波形]をクリックします。



⑥ 全体波形が表示されます。



⑦ ②,③,④の手順と同様に*マーカを遠端に移動します。



(2) 波形の表示範囲を設定します。 レポートに出力する波形の表示範囲を設定します。今回は、全体波形 を出力するので、[全体波形]をクリックします。



(3) 全体波形が表示されます。



(4) ほかのすべての波形ファイルに、(1)から(3)で行った設定をコピーします。

コピーする項目を選択し,コピーを実行します。

反映する項目にチェックを付けます。
 今回は、[マーカ位置], [相対距離位置], [群屈折率(IOR)], [波形の表示範囲], [LSA/2PA]の設定内容をすべての波形に反映するので、各項目にチェックを付けます。



図 3.1-39 リファレンス設定画面

② [実行]をクリックします。



図 3.1-40 リファレンス設定画面

(5) [次へ]をクリックします。



図 3.1-41 次へ

7. 印刷

作成したレポートの最終確認をします。

これまで設定した内容が反映されているか確認してください。



図 3.1-42 出力イメージの確認画面

ページの[出力する]をチェックします。
 レポートにページ番号を出力するかしないかの設定をします。今回は、
 ページ番号を出力するのでここにチェックを付けます。



図 3.1-43 ページ番号の出力設定

(2) [印刷]をクリックします。
 作成したレポートの出力形式を選択します。今回は、印刷するので、
 [印刷]をクリックします。



図 3.1-44 レポートの出力

(3) 印刷の設定画面が表示されます。

	1121 av. 1		?
	ま - プリンタの選択 - プリンタの追加 - プリンタの追加 - デジリジパロ01		
ページ範囲 「すてし 立限にに部分の C 現在のページの ベージ施業(の) 下2 ページ施業のかれ、またはページ範囲のみを入力し	状態 オフライン 場所: コメンド:	□ ファイルへ出力(Ε)	詳細設定(E) プリンタの検索(Q)
	ページ範囲 「すべて(U) 「違択した部分(T) 「現在のページ(U) 「ページ指定(Q): 「1-2 ページ着号(Q)Aか、またはページ範囲のみを入力し、 べいが、前になった。	部数©: 「「「部単位で印	

図 3.1-45 印刷画面

(4) [印刷(<u>P</u>)]をクリックします。

💩 धास		? 🛛	
全統 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの選択 プリンタの 思知 プリンタの 思知 プリンタの 思知 プリンタの 思知 プリンタの 思知 プリンタの 思知 プリンタの 思知 プリンタの 思知	ファイルへ出力(を) 詳細語 フリンタの	▲ ▼ 定® 検索②	
ページ転回 「 すべて (2) 「 選択したがら (1) 「 現在のページ(2) に ページ指定 (2)、 [1-2 ページ着き(3)ふか、またはページ転回のみを入力し てただたい。例 5-12			クリックします。

図 3.1-46 印刷画面

3.2 波形を解析する

エミュレーションを使用して波形を解析する手順を,一例をあげて説明します。

エミュレーションには、以下のような機能があります。詳しくは、エミュレーションのソフトウェアのヘルプを参照してください。

機能	ヘルプの目次
ファイルの読み込みや保存をする。	[操作] → [ファイルの読み込みや保存をする]
2点または6点マーカを用いて波形を解析する。	[操作] → [波形を解析する]
両端測定した波形ファイルを解析する。	[操作] → [両端波形を解析する]
2個の波形ファイルを比較する。	[操作] → [波形を比較する]
波形の拡大や縮小をする。	[操作] → [波形の拡大や縮小をする]
イベントをオートズームする。	[操作] → [イベントをオートズームする]
イベントを自動検出する。	[操作] → [イベントを自動検出する]
イベントの追加や削除をする。	[操作] → [イベントを編集する]
相対距離(ダミーファイバ)を設定する。	[操作] → [相対距離を設定する]
タイトルやヘッダを編集する。	[操作] → [タイトル/ヘッダを編集する]
ファイルを検索する。	[メニュー] → [ファイル] → [ファイル検索]
選択した波形を印刷する。	[メニュー] → [ファイル] → [印刷]
波形の色などの表示形式を変更する。	[メニュー] → [表示] → [表示設定]
複数の波形を見やすい位置に調整する。	[メニュー] → [表示] → [波形をそろえる] [メニュー] → [表示] → [波形を等間隔に並べる]

表 3.2-1 エミュレーションの機能一覧

解析方法には,損失&全反射減衰量(2 点マーカ),接続損失&反射(6 点マーカ),イベントマーカが用意されており,イベント点や測定結果を表示,解析することができます。

損失&全反射減衰量(2 点マーカ)で[マーカ間距離], [マーカ間損失], [伝送損失], [全反射減衰量]を求めてみましょう。



図 3.2-1 エミュレーション画面

3

1. ソフトウェアの起動

Windows XP のとき:

 $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム(\underline{P})] \rightarrow [MX900000A] \rightarrow [エミュレー$ ション]を選択し、エミュレーションを起動します。

Windows 7 のとき:

- (1) $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム] \rightarrow [MX900000A] \rightarrow [エミュ$ レーション]を選択し、エミュレーションを起動します。
- (2) ユーザーアカウント制御画面が表示されます。この画面では、[はい (<u>Y</u>)]をクリックします。

-ב 😗	ーザー アカウント制御	
	次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?	
	プログラム名: prjEmulation.exe 発行元: 不明 ファイルの入手先: このコンピューター上のハー	ब. इ.
•	詳細を表示する(<u>D</u>) (はい(Y) いいえ(<u>N</u>)	
	<u>これらの通知を表示するタイミングを変更する</u>	

図 3.2-2 ユーザーアカウント制御画面

 解析する波形ファイルの読み込み 解析する波形ファイルを読み込みます。



図 3.2-3 エミュレーション起動画面

(1) [開く]をクリックします。



(2) ファイルを開く画面が表示されます。

ファイルを間く					? 🛚
ファイルの場所の:	2006.10.10		•	🗢 🗈 💣 🔝	
最近使ったファイル デスカトゥブ マイドキュメント マイニンビュータ マイニンビュータ	ENEW001 1510nm NEW001 1550nm NEW002,1310nm NEW002,1310nm NEW002,1560nm NEW003,1500nm NEW003,1500nm NEW004,1310nnm NEW004,1310nnm NEW004,1550nm	SÖR Sör Sör Sör Sör Sör Sör Sör			
	771ル名(11):	<u></u>		•	■ 開K(Q)

図 3.2-5 ファイルを開く画面

(3) 波形ファイルを選択します。 解析したい波形ファイル(*.sor, *.dat)を選択します。今回は, 8 個の 波形ファイルを選択します。



図 3.2-6 波形ファイルの選択

(4) [開く(<u>O</u>)]をクリックします。



図 3.2-7 ファイルを開く画面

3. 波形の解析

解析方法やマーカ位置を変更し, [マーカ間距離], [マーカ間損失], [伝送 損失], [全反射減衰量]を求めます。



図 3.2-8 エミュレーション画面

(1) 解析方法を選択します。
 解析方法を選択します。
 今回は、損失&全反射減衰量(2点マーカ)で
 解析するので、
 [2点]をクリックします。



- 3
- (2) 解析方法が損失&全反射減衰量(2点マーカ)に変更されます。



図 3.2-10 損失&全反射減衰量(2 点マーカ)

- (3) Xマーカを移動します。
 - X マーカの近くにマウスカーソルを合わせ、マウスカーソルの表示 を↑にします。



図 3.2-11 Xマーカの移動前

 マウスカーソルの表示を↑にした状態で X マーカをドラッグし、ロ 元付近に移動します。



図 3.2-12 Xマーカの移動

(4) 波形を拡大します。
 マーカを設定しやすいように波形を拡大します。今回は、拡大したい場所をドラッグします(図 3.2-12 のように四角を描きます)。



(5) 波形が拡大表示されます。



図 3.2-14 波形の拡大後



図 3.2-15 Xマーカの移動

(7) 波形の表示範囲を設定します。
 レポートに出力する波形の表示範囲を設定します。今回は、全体波形
 を出力するので、[全体波形]をクリックします。



図 3.2-16 全体波形ボタン

- (8) 同様に*マーカを遠端に移動します。
- (9) 2 つのマーカの移動が完了すると,解析結果が表示されます。



図 3.2-17 解析結果

3.3 計画ファイルを作成する

計画測定エディタを使用して計画測定ファイルを作成する手順を,一例をあげて 説明します。

計画測定エディタには、以下のような機能があります。詳しくは、計画測定エディタのソフトウェアのヘルプを参照してください。

表 3.3-1 計画測定エディタの機能一覧

機能	ヘルプの目次
ファイルの読み込みや保存をする。	[操作] → [ファイルの読み込みや保存をする]
測定の計画を立てる。	[操作] → [計画を立てる]
両端測定用の計画ファイルを作成する。	[操作] → [両端測定用の計画を立てる]
測定計画条件を変更する。	[操作] → [測定計画条件を変更する]
測定条件の追加や削除をする。	[操作] → [測定条件の追加や削除をする]
心線の追加や削除をする。	[操作] → [心線の追加や削除をする]
データを切り取る、コピーする、貼り付ける。	[操作] → [データを切り取る, コピーする, 貼り付ける] [操作] → [コピーしたデータを複数のセルに貼り付ける]
データを並び替える。	[操作] → [データを並び替える]
データの検索や置換をする。	[操作] → [データの検索や置換をする] [メニュー] → [編集] → [検索] [メニュー] → [編集] → [置換]
一覧に表示する項目や順番を変更する。	[操作] → [表示項目を設定する]
反射減衰量の計算方法を変更する。	[操作] → [反射減衰量の計算方法を変更する]

3

次の条件で計画ファイルを作成してみましょう。

表 3.3-2 計画ファイル作成条件

項目名	設定内容
ファイル名	厚木-海老名 0001_1310.SOR
心線名称	厚木-海老名
心線番号	0001~0008の連番
測定状態	未測定
波長	1310nm, 1550nm
距離レンジ	10km, 現場で決める
パルス幅	100ns, 現場で決める
平均化(回)	10, 現場で決める





1. ソフトウェアの起動

Windows XP のとき:

 $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム(\underline{P})] \rightarrow [MX900000A] \rightarrow [計画 測定エディタ]を選択し, 計画測定エディタを起動します。$

Windows 7 のとき:

- (1) [スタート] → [すべてのプログラム] → [MX900000A] → [計 画測定エディタ]を選択し, 計画測定エディタを起動します。
- (2) ユーザーアカウント制御画面が表示されます。この画面では、[は い(<u>Y</u>)]をクリックします。

🛞 ユーザー アカウント制御	
次の不明な発行元が 可しますか?	いらのプログラムにこのコンピューターへの変更を許
プログラム名: 発行元: ファイルの入手先: ○ 詳細を表示する(<u>D</u>)	MeasPlanEditor.exe 不明 このコンピューター上のハー (はい(Y) いいえ(N) これらの通知を表示するタイミングを変更する
図 3.3-2	ユーザーアカウント制御画面

3

2. 計画ファイルの新規作成

スタート画面から計画を立てる方法を選択します。

- 	()	
7rイル(E) 編集(E) 設定(U) 表	₩ ?°⊞	
X 🖻 🛍 🖊		
□ 新規作成 ■ 上書き保有	書 ≛ 両端 片端	
		 スタート 新規(fst) ① 既存のファィルを聞く ○K 4+2セル

図 3.3-3 計画測定エディタ起動画面

(1) 計画を立てる方法を選択します。
 新規に計画ファイルを作成するか,既存の計画ファイルを開くかを選択します。
 今回は,新規に計画ファイルを作成するので,[新規作成]を選択します。



図 3.3-4 スタート画面

(2) [OK]をクリックします。



3. 測定計画条件の設定

計画ファイルの測定計画条件を設定します。

計画名称								
7114名								
(1)_(2)_(3)_(4)_	(5).SOR							
1) 利別文字 -	(2) 力23/1	(3)		(4) 1725	162	(5)	7	
HelBelatertr	_]		_	1 1000			50R	
刊501文子 順方向 ab			☑ 単位す	ju j		<u> </u>	(-
i送方向 ba			도비니호:	E		カスタム2	D	-
VENNER 1070			L 97574					
線名			- 20	をパラメー	2			
2.85				96 tr 34		提供8个历时	道安長の占フーカ)	
明約4番号 1	_			-910032	T. 12	1月20日10日1	1989 C 20 C 2	÷
k 8h 0	_			//////	τ-r	1		÷
+18X [0			4	-2011.0#	1 <u>11</u>)	10.97		-
1セスマスタの型名選択								
型名		1310	nm 1550nm					
MT9082A-053			間定ハラメーター					
波長			群屈折率(IOR		現場で決	める	•	
☑ 1310nm								
✓ 1650nm		¹	ペツト検出―― 19/51日生		1日1日 1日1日	か る	- 40	
					1848-525		- 00	
			汉朝版表重		potos coto	кл <i>ы</i>		
			771/17達端		現場で決	00	▼] dB	

図 3.3-6 測定計画条件の設定画面

(1) 計画名称を入力します。 計画ファイルにタイトルとして工事名称など,任意の文字列を入力しま す。今回は,[光ファイバ伝送路整備工事]と入力します。

┌計画名称 ———		入力します。	
計画名称	光ファイバ伝送路整備工事		
	図 3.3-7 計画名称の記	没定	

(2) ファイル名を設定します。
 計画測定で測定結果を保存するときのファイル名を設定します。今回は、[厚木-海老名]+[番号]+[波長]に設定します。

厚木-海老名0001_1310.SOR
厚木-海老名0001_1550.SOR
厚木-海老名0002_1310.SOR
厚木-海老名0002_1550.SOR

図 3.3-8 ファイル名の設定

 ファイル名に使用する項目を選択します。 ファイル名は、(1)~(5)の項目を並べた名称となります。今回は、 心線名と波長からファイル名を付けるので、[心線名]、[波長]、[な し]を選択します。

- ファイル名 (1) (2) (3) (4) (5).SOR		
(1) (2) (2) (2) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3) (3	(4) (5)	SOR
道方向 b_a		_

図 3.3-9 ファイル名の設定

② ファイル名の詳細を設定します。 波長や距離レンジなどを選択したときに単位を付加するかを設定します。今回は、単位を付けないので、単位ありのチェックを外します。 ファイル名の各項目の区切りに[]を使うので、区切り文字に[]と入力します。

- ファイル名 (1)_(2)_(3)_(4)_((1)	(5).SOR チェック	7を外します。	(5)	
心線名	波長	tal	入力します。	DR
和助女子 順方向 a_b			0.7941	
逆方向 b_a)

図 3.3-10 ファイル名の設定
- (3) 心線名を入力します。
 - 心線の名称を入力します。
 今回は、[厚木-海老名]と入力します。

┌心線名――		
名称	厚木-海老名	
開始番号	1	
本数	8	し入力します。

図 3.3-11 心線の名称設定

② 測定する心線の開始番号と本数を入力します。
 今回は、心線番号を1から付けるので、開始番号に[1]と入力します。また、測定する心線の本数が8本なので、本数に[8]と入力します。

-心線名——		
名称	厚木-海老名	入力します。
開始番号		
本数	8	

図 3.3-12 心線の開始番号と本数の設定

(4) 測定パラメータを設定します。
 解析方法,サンプリングモード,平均化(単位)をそれぞれ設定します。
 今回は,損失&全反射減衰量(2 点マーカ)で測定するので,[損失&
 全反射減衰量(2 点マーカ)]を選択し,サンプリングモードは,[標準]を
 選択します。また,平均化(単位)は回数で指定するので,[回数]を選択します。

	選択します。
_測定パラメータ	
解析方法	損失&全反射減衰量(2点マーカ)▼
サンフリングモート	標準
平均化(単位)	

図 3.3-13 測定パラメータの設定

3

(5) 計画ファイルを使用するアクセスマスタの型名を選択します。 測定現場で使用するアクセスマスタの型名を選択します。今回は, MT9082A-053 で測定するので, [MT9082A-053]を選択し, 測定す る波長にチェックを付けます。



図 3.3-14 測定器と波長の設定

(6) 波長ごとの設定をします。

群屈折率(IOR)と測定した結果からイベントを検出するしきい値を設定 します。1310 nm のタブをクリックし、1310 nm 用の設定画面を表示さ せます。今回は、群屈折率(IOR)に[1.465500]と入力します。接続損 失には[0.30]、反射減衰量には[25.0]、ファイバ遠端には[5]と入力しま す。次に1550 nm のタブをクリックし、1550 nm 用の設定画面を表示さ せます。今回は、群屈折率(IOR)に[1.466100]と入力します。接続損 失、反射減衰量、ファイバ遠端は、1310 nm と同様に設定します。

アクセスマスタの型名選択 型名	1310nm 1550nm	入力します。
MT9082A-053)定パラメータ	
波長 ▼1310nm	群屈折率(IOR)	1.465500
✓ 1550nm	- イベント検出	
	接続損失	0.30 dB
	反射減衰量	25.0 💌 dB
	ファイハジ遠端	5 dB

図 3.3-15 波長ごとの設定

(7) [OK]をクリックします。



4. 測定条件の設定

心線ごとの測定条件を設定します。今回は,距離レンジ,パルス幅,平均化 (回)を設定します。



図 3.3-17 計画測定エディタ画面

- 距離レンジを設定します。
 測定する光ファイバの距離レンジを設定します。今回は、[10km]に設定します。
 - ① 変更したいセルをクリックします。



図 3.3-18 距離レンジの選択

② [▼]をクリックします。



図 3.3-19 距離レンジの選択

③ 選択できる一覧が表示されます。

距離レンジーのル	Z
現場で決める 🚽 現場	ļ-
現場で決める	-
自動設定	-
自動設定(5km未満)	-
0.5km	-
1km	-
2.5km	
0Km 10km	
DEL m	1
E0km	-
100km	-
200km	-

図 3.3-20 距離レンジの選択

④ 距離レンジを選択します。
 測定するファイバ長が 10 km なので, [10km]を選択します。



図 3.3-21 距離レンジの選択

⑤ セルの中に[10km]と表示されます。

距離レンジ	
10km	-
現場で決める	
現場で決める	
現場で決める	

図 3.3-22 距離レンジの選択

- (2) [10km]を下のセルに連続してコピーします。
 - コピーしたいセルをクリックします。コピーしたいセルがへこんでいる ときは、一つ下のセルをクリックして元の状態に戻してください。

距離レンジ	ĺ
10km 🚽	
現場で決める	
現場で決める	
現場で決める	
現場で決める	

図 3.3-23 コピーする距離レンジの選択

マウスの左ボタンを押したまま右クリックします。セルの色が変わります。

距離レンジ
10km 🚽
現場で決める
現場で決める
現場で決める
現場で決める

図 3.3-24 コピーの準備が完了

③ コピーしたいセルまで左ボタンを押したまま,下方向へドラッグしま す。今回は, No.8 の行までコピーします。

波長	距離レンジ	パルス幅
1310nm	10km 🚽	現場で決める
1550nm	現場で決める	現場で決める
1310nm	現場で決める	現場で決める
1550nm	現場で決める	現場で決める
1310nm	現場で決める	現場で決める
1550nm	現場で決める	現場で決める
1310nm	現場で決める	現場で決める
1550nm	現場で決める	現場で決める
	波長 1310nm 1550nm 1310nm 1550nm 1310nm 1550nm 1310nm 1550nm	波長 距離レジジ 1310nm 10km ▼ 1550nm 現場で決める 1310nm 現場で決める 1550nm 現場で決める 1310nm 現場で決める 1550nm 現場で決める 1310nm 現場で決める 1310nm 現場で決める

図 3.3-25 コピーするセルの選択

④ マウスの左ボタンを離します。選択したセルにコピーされます。

距離レンジ
10km 🚽
10km

図 3.3-26 コピー後のセル

(3) パルス幅を設定します。

距離レンジの設定と同様に測定するパルス幅を設定します。今回は, [100ns]を選択します。

距離レンジ	パルス幅
10km	100ns 🚽
10 km	100ns
10km	100ns
10 km	100ns
10 km	100ns
10km	100ns
10km	100ns
10 km	100ns
現場で決める	現場で決める
図 3.3-27 パ	ルス幅の選択

3

- (4) 平均化(回)を設定します。測定回数を設定します。今回は、[10]と入力します。
 - 設定したいセルをクリックします。



図 3.3-28 平均化回数を設定したいセルの選択

② 平均化の回数を入力します。測定回数が 10 回なので, [10]と入力します。



図 3.3-29 平均化回数の入力

③ セルの中に[10]と表示されます。

平均化(回)	
10	-
現場で決める	
現場で決める	
現場で決める	

図 3.3-30 平均化回数

④ [10]を下のセルに連続してコピーします。
 距離レンジと同様に[10]をセルに連続コピーします。

平均化(回)	
10 🗾	
10	
10	
10	
10	
10	
10	
10	

図 3.3-31 平均化回数のコピー

5. 計画ファイルの保存

作成した計画ファイルを任意のファイル名と保存する場所を指定して保存します。

(1) [ファイル(<u>F</u>)] →[名前を付けて保存(<u>S</u>)...]を選択します。



図 3.3-32 名前を付けて保存

(2) 名前を付けて保存画面が表示されます。

名前を付けて保存		? 🛛
保存する場所の:	🔁 2006.10.10 💌 🗢 🗈 📸 📰	
していたい 最近使ったファイル		
7,291-97		
₹1 ⊒ンピュ-9 €		
⊽イ ネットワーク	ファイル名型・ ▼ ファイルの種類①・ M/S00000A 計画測定ファイル (順方向/片端) (*hst) ▼	保存(5) キャンセル

図 3.3-33 名前を付けて保存画面

(3) 保存する場所を選択し、ファイル名を入力します。 今回は、ファイル名に計画名称と同じ[光ファイバ伝送路整備工事]と入力します。



図 3.3-34 名前を付けて保存画面

(4) [保存(S)]をクリックします。

(保存する場所 Φ:	2006.10.10	•■ * ■ •
最近使ったファイル		
デスクトップ		
>>>		
71 F#1X21		クリックします。
マイコンピュータ		
- Sec. 1		
マイ ネットワーク	ファイル名(11):	光ファイバ伝送路整備工事
	ファイルの種類(①):	MX900000A 計画測定ファイル(順方向/片端)(*hsf) -

図 3.3-35 名前を付けて保存画面

(5) 計画ファイルをアクセスマスタにコピーします。 USB ケーブルでアクセスマスタとパソコンを接続し、パソコンで作成し た計画ファイルをアクセスマスタにコピーします。MT9082 シリーズアク セスマスタの場合は、パソコンとの接続時の動作を USB ストレージに 設定します。詳細は MT9082 シリーズアクセスマスタ取扱説明書の 「3.4.1 一般設定」を参照してください。



アクセスマスタ

図 3.3-36 計画ファイルのコピー

- ① マイコンピュータを開きます。
- ② USB ケーブルでアクセスマスタとパソコンを接続します。
- ③ マイコンピュータの画面に新しいリムーバブルディスクのアイコンが 表示されます。
- ④ ③で新しく表示されたリムーバブルディスクのアイコンをダブルクリッ クします。
- ⑤ 作成した計画ファイルのコピーしたい場所を選択します。
- ⑥ ⑤で選択した場所にコピーします。

3

使ってみよう

ご E.¥ ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(D) ヘルプ(H)	
ত তে	2.27 計画ファイル のつピー

⑦ USBケーブルを取り外します。取り外し方法については、MT9082 シリーズアクセスマスタ取扱説明書または MT9080 シリーズアクセ スマスタ取扱説明書の「第 11 章 周辺インタフェース」を参照してく ださい。

3.4 コメントを編集する

コメントエディタを使用して波形ファイルのコメント(タイトルやヘッダ)を編集する手順を,一例をあげて説明します。

コメントエディタには、以下のような機能があります。詳しくは、コメントエディタのソフトウェアのヘルプを参照してください。

機能	ヘルプの目次
ファイルの読み込みや保存をする。	[操作] → [ファイルの読み込みや保存をする]
タイトルやヘッダを編集する。	[操作] → [タイトルやヘッダを編集する]
一覧に表示する項目や順番を変更する。	[操作] → [表示を設定する]
データを切り取る、コピーする、貼り付ける。	[操作] → [データを切り取る, コピーする, 貼り付ける] [操作] → [コピーしたデータを複数のセルに貼り付ける]
データを並び替える。	[操作] → [データを並び替える]
タイトルやヘッダをファイルごとに別画面で編集する。	[操作] → [タイトルやヘッダを編集する]
データの検索や置換をする。	[操作] → [データの検索や置換をする]

表 3.4-1 コメントエディタの機能一覧

次の条件でコメントを編集してみましょう。

表 3.4-2 コメントの編集内容						
項目名	設定内容					
タイトル	厚木-海老名					
データフラグ	RC:修復時					
作業者	安立 太郎					
顧客	Anritsu					
ファイバ番号	Fiber1, Fiber2, •••Fiber8					





1. ソフトウェアの起動

Windows XP のとき:

(1) $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム(\underline{P})] \rightarrow [MX90000A] \rightarrow [エ$ ミュレーション]を選択し、エミュレーションを起動します。

Windows 7 のとき:

- (1) [スタート] → [すべてのプログラム] → [MX900000A] → [エミュレーション]を選択し、エミュレーションを起動します。この後、ユーザーアカウント制御画面が表示されるので、[はい(Y)]をクリックします。詳細は「3.2-1 ソフトウェア起動」を参照してください。
- (2) [コメントエディタ]をクリックし, 起動します。



図 3.4-2 コメントエディタの起動

(3) エミュレーションの終了の確認画面が表示されます。



図 3.4-3 エミュレーションの終了の確認画面

(4) [はい]をクリックします。エミュレーションで作業中のときは、[いいえ]をク リックし、ファイルを保存してから再実行してください。

	MX900000A Ιミュレーション 🛛
クリックします。	? 終了しますか?

図 3.4-4 エミュレーションの終了の確認画面

2. 波形ファイルの読み込み

コメントを編集したい波形ファイル(*.sor, *.dat)を読み込みます。

(1) [開く]をクリックします。



(2) ファイルを開く画面が表示されます。

ファイルを間く					? 🛛
ファイルの場所の	2006.10.10		•	🗢 🗈 💣 💷	
 最近使売ファイル デスクトップ デスクトップ マイ ドキュメント マイ コンピュータ マイ ネットワーク 	EVENUT 1310-mm EVENUT 1310-mm	DAT DAT DAT DAT DAT DAT DAT DAT DAT			
	771小名创:			•	BK©
	ファイルの種類(工):	波形7ァイル(*SOR*DAT)		•	

図 3.4-6 ファイルを開く画面

- (3) 波形ファイルを選択します。
 - コメントを編集したい波形ファイルを選択します。今回は,8 個の波形 ファイルを選択します。



図 3.4-7 波形ファイルの選択

(4) [開く(<u>O</u>)]をクリックします。



図 3.4-8 ファイルを開く画面

3. コメントの編集

タイトル,データフラグ,作業者,顧客,ファイバ番号を編集します。

アイルC 編集(2) 表示(2) 人は7(4) アイルC 読品 日 アーク トレ アーク・ワラフラグ 作業者 観客 乱点 然点 ファイル No ファイルC 読品 読品 読品 日		4X900	000 A	ועאבו	IT	r9											
空子 日 大 日 上 日 No ファイル名 演長 財益が中のCR タイトル ア・タフラジ 作業者 副名 温点 納点 ファイ 加 日 日本 日本	771	₩Œ) ł	扁集(E) 表示	W	∿⊮7°(<u>H</u>)										
No. ファイル名 読品 読品(新年400R) タイルル データフラグ 作業者 範密 読品(新点) スク 1 NEW00113100m.SOR 1100m 1405540 B0、数計時 厚木 厚志 月をも 2 NEW0011500m.SOR 1100m 1405100 B0、数計時 厚木 厚木 月をも 3 NEW0021100m.SOR 1100m 1405100 B0、数計時日 厚木 月をも 4 NEW0021100m.SOR 1100m 1405100 B0、数計時日 厚木 月をも 6 NEW0021100m.SOR 1100m 1405100 B0、数計時日 厚木 月をも 6 NEW0021100m.SOR 11500m 1465100 B0、数計時日 厚木 月をも 8 NEW00311500mSOR 15500m 1466100 B0、数計時日 厚木 月をも 8 NEW00415500mSOR 15500m 1466100 B0、数計時日 厚木 月をも	6	₽ ₩	 上書き	保存	よ 初り】	6 耳取り	<u>ה</u> בצ-	記り作	l tt	人格							
INEW00130mm_SOR 1310mm 1465540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW001550mmSOR 1550mm 1665540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW00213100m_SOR 1550mm 1665540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW00213100m_SOR 1550mm 1665540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW0021500mSOR 1550mm 1665540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW00213100m_SOR 1310mm 1465540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW00213100m_SOR 1310mm 1465540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW004_13100m_SOR 1310mm 1465540 BC 頻識時 原本 清差名 NEW004_1550nm_SOR 1550nm 1466100 BC 頻識時 原本 清差名	No.	ファイ	ル名		波	張	群屈折率(IOR)	シイトル		データフラグ	作業者	顧客	起点	総点	ファイバ	番号
2 NEW001 [1500m.508 11601m] 1465100 B0、数1349 厚木 漫老名 NEW002 [1500m.508 11501m] 1465100 B0、数1349 厚木 漫老名 NEW003 [1500m.508 11501m] 1465100 B0、数1349 厚木 漫老名 NEW004 [1550nm.508 15501m] 1465100 B0、数1349 厚木 漫老名	1	NEWC	01 13	10nm.SO	R 13	310nm	1.465540				BC: 敷設時			厚木	海老名		
3 NEW0021310mm50R 1310mm 1465640 B0、戦闘時 厚木 海老名 4 NEW002150mm50R 1550mm 1465100 B0、戦闘時 厚木 海老名 5 NEW0031310mm50R 1310mm 1465540 B0、戦闘時 厚木 海老名 6 NEW003150mm50R 1550mm 1465100 B0、戦闘時 厚木 海老名 8 NEW00413150nm50R 1550nm 1465100 B0、戦闘時 厚木 海老名 8 NEW00413550nm50R 1550nm 1465100 B0、戦闘時 厚木 海老名	2	NEWO	01_158	50nm.SO	R 15	550nm	1.466100				BC: 敷證時			厚木	海老名		
4 NEW0021550nm 50R 1560nm 1.465100 BC 頻繁時 厚木 海老名 5 NEW003150nm 50R 150nm 1.465100 BC 頻繁時 厚木 海老名 6 NEW031550nm 50R 1550nm 1.465100 BC 頻繁時 厚木 海老名 7 NEW041510nm SOR 1150nm 1.465100 BC 頻繁時 厚木 海老名 8 NEW004,1550nm,SOR 1550nm 1.466100 BC 頻繁時 厚木 海老名	3	NEWO	02_13	10nm.SO	R 13	310nm	1.465540				BC: 敷設時			厚木	海老名		
5 NEW0031100m.50R 1310m 1.465540 B0,野蠶94 厚木 海老名 6 NEW003150m.50R 1550m 1.465540 B0,野蠶94 厚木 海老名 7 NEW004_1310m.50R 1310m 1.465540 B0,野蠶94 厚木 海老名 8 NEW004_1550nm.50R 1550nm 1.466100 B0;野蠶94 厚木 海老名	4	NEWO	02_158	50nm.SO	R 15	550nm	1.466100				BC: 敷設時			厚木	海老名		
6 NEW0031550nm50R 1560nm 1465100 B0 對設時 厚木 海老名 7 NEW0041550nm50R 1310nm 1465100 B0 對設時 厚木 海老名 8 NEW0041550nmS0R 1550nm 1466100 B0 對設時 厚木 海老名	5	NEWO	03_131	10nm.SO	R 13	310nm	1.465540				BC: 敷設時			厚木	海老名		
7 NEW004_1310nm.SOR 1310nm 1.465540 BC。 野鼠和马 厚木 海老名 NEW004_1550nm.SOR 1550nm 1.466100 BC。 野鼠和马 厚木 海老名	6	NEWO	03_158	50nm.SO	R 15	550nm	1.466100				BC: 敷設時			厚木	海老名		
8 NEW004_1550nm.SOR 1550nm 1.466100 BC 數證時 厚木 海老名	7	NEWC	04_131	10nm.SO	R 13	310nm	1.465540				BC: 敷設時			厚木	海老名		
	8	NEWO	04_158	50nm.SO	R 15	550nm	1.466100				BC: 敷設時			厚木	海老名		
	<					111											>

図 3.4-9 コメントエディタ画面

タイトルのセルを選択します。
 編集したいセルをクリックします。

	群屈折率	(IOR)	21-H-	データフラグ
		-5		BC: 敷設時
クリックし	ます。	\sim		BC: 數設時
				BC: 敷設時
	1.100100			BC: 敷設時

図 3.4-10 タイトルを変更したいセルの選択

(2) タイトルを入力します。 タイトルには,任意の文字列を入力します。今回は,[厚木-海老名]と

入力します。

	群屈折率(IOR)	24-h-	データフラグ
1	1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時
			BC: 敷設時
入力しる	ます。		BC: 敷設時
			BC: 敷設時

図 3.4-11 タイトルの入力

(3) 入力が完了すると、青字で表示されます。

群屈折率(IOR)	211-11-	データフラグ
1.465540	厚木-海老名)	BC: 敷設時
1.466100		BC: 敷設時
1.465540		BC: 敷設時
1.466100		BC: 敷設時

図 3.4-12 タイトルの入力

- (4) タイトルをコピーします。
 入力済みのタイトルを下のセルにコピーします。今回は、[厚木-海老 名]を下のセルに連続してコピーします。
 - コピーしたいセルをクリックします。コピーしたいセルが凹んでいると きは、一つ下のセルをクリックして元の状態に戻してください。

群屈折率(IOR)	3-11-11-	データフラグ
1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時
1460		BC: 敷設時
クリックします。		BC: 敷設時
		BC: 敷設時

図 3.4-13 コピーするタイトルの選択

マウスの左ボタンを押したまま右クリックします。セルの色が変わります。

群屈折率(IOR)	タイトル	データフラグ
1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時
1.466100		BC: 敷設時
1.465540		BC: 敷設時
1.466100		BC: 敷設時



③ コピーしたいセルまで左ボタンを押したまま、下方向へドラッグします。今回は、いちばん下までコピーします。

	群屈折率(IOR)	タイトル	データフラグ
	1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時
	1.466100		BC: 敷設時
₽	1.465540		BC: 敷設時
▼	1.466100		BC: 敷設時

図 3.4-15 コピーするセルの選択

④ マウスの左ボタンを離します。選択したセルにコピーされます。

群屈折率(IOR)	タイトル	データフラグ
1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時
1.466100	厚木-海老名	BC: 敷設時
1.465540	厚木-海老名	BC: 敷設時
1.466100	厚木-海老名	BC: 敷設時

図 3.4-16 コピー後のセル

(5) タイトルと同様に作業者, 顧客, ファイバ番号に表 3.4-2 の内容を入力 します。 (6) データフラグのセルを選択します。編集したいセルをクリックします。



図 3.4-17 データフラグの選択

(7) [▼]をクリックします。



図 3.4-18 データフラグの選択

(8) データフラグを選択します。 現在の光ファイバの状況を設定します。今回は、光ファイバの修復時なので[RC:修復時]を選択します。



図 3.4-19 データフラグの選択

(9) セルの中に[RC:修復時]と表示されます。

データフラグ	
RC: 修復時	-
BC: 敷設時	
BC: 敷設時	
BC: 敷設時	

図 3.4-20 データフラグ選択後のセル

- (10) タイトルと同様に[RC:修復時]を下のセルに連続してコピーします。
- (11) [上書き保存]をクリックします。

コメントの編集が完了したら,編集した内容を波形ファイルに上書き保 存します。



図 3.4-21 上書き保存

(12) 上書き保存の確認画面が表示されます。



図 3.4-22 上書き保存の確認画面

(13) [OK]をクリックします。
 MX900000A コメントエディタ マリックします。
 クリックします。
 と書き(保存しますか?)
 マレンセル
 図 3.4-23 上書き保存の確認画面

(14) 上書き保存すると青字で表示された編集箇所が黒字に戻ります。

使ってみよう

3.5 システム設定を行う

システムセッティングを使用して表示言語の設定,およびマーカの設定手順を説明 します。

1. ソフトウェアの起動

Windows XP のとき:

 $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム(\underline{P})] \rightarrow [MX900000A] \rightarrow [システム セッティング]を選択し、システムセッティングを起動します。$

Windows 7 のとき: $[スタート] \rightarrow [すべてのプログラム] \rightarrow [MX900000A] \rightarrow [システムセッ$ ティング]を選択し、システムセッティングを起動します。

- 2. 表示言語の設定
 - (1) 表示する言語を選択します。
 各アプリケーションで表示される言語を、日本語、または英語から選択します。
 今回は、[日本語]を選択します。



図 3.5-1 システム設定画面

(2) [OK]をクリックします。



図 3.5-2 システム設定画面

- (3) アプリケーションを再起動すると, 設定された言語で表示されるようになります。
- 3. マーカの設定

光ファイバの接続点や伝送損失などを詳細に測定するときのマーカの操作方 法を設定します。

- 移動方式:常に6点または2点のマーカが表示されます。マーカを選 択して動かします。選択したマーカ位置にカーソルが表示さ れます。
- 配置方式: カーソルを動かしてマーカを置いていきます。全マーカを消 すこともできます。カーソルはマーカと独立しているので, マーカのないところでもズームして見ることができます。

3

(1) マーカの操作方法を選択します。

移動方式,または配置方式から選択します。今回は,[配置方式]を選択します。



図 3.5-3 システム設定画面

(2) [OK]をクリックします。



図 3.5-4 システム設定画面

(3) アプリケーションを再起動すると,設定されたマーカ操作方法で表示さ れるようになります。